

<スクールアルバム>

大根の収穫！
被災地支援の食材にも用いられました。



YWAM ニュージーランドチームとの交流会



通信高校のスクーリングに参加
スクーリング後の生徒大会にも参加し、
200名以上の若者たちと讚美しました！



「能」の鑑賞、体験に参加しました！



お願い・ご報告

- 1月の行事は、主の守りの中一つ一つが祝福のうちに終わりました。皆さまのご協力を感謝します。
- 2月10日(土) 10時～12時、クリスタルチャペル(のあIS)にて、岩上真歩子氏による「傾聴セミナー」を開催します。岩上先生による一年間のセミナーの最終回となりますが、初めての方も大歓迎です。傾聴するために、学ぶことを通して気づきが与えられ自分自身の心の癒やしも始まります。是非ご参加ください。参加費は2000円です。
- 被災地支援募金にご協力くださりありがとうございました。皆さまから 円の義援金が集まり、本郷台キリスト教会を通して、全額をお渡ししました。被災地の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるよう祈りましょう。
- 卒業を迎える生徒たちの進路・受験のためにお祈りください。
- 来年度に向けて準備が始まっています。引き続き、新入生が多くあるようにお祈りくださり、また、学習の場が備えられ、スタッフが整えられ、カリキュラム等の準備も整えられるようお祈りください。

◆3月のスケジュール

～1日(金) 2024年度高等部入試二次願書受付

1日(金) 学部別卒業行事

2日(土) 新年度保護者説明会・保護者スタッフ清掃(午前中)

4日(月) 4限授業(14時下校)

<4日(月) 高等部学力考査(二次)> *実施の時は、3限授業 昼食なし(12時下校)

5日(火) 3限授業 午後、卒業式リハーサル(ダイヤモンドチャペル移動)(15時下校)

6日(水)～12日(火) 3限授業・昼食あり(13時下校)

12日(火) 授業終了 昼食終了

13日(水) スポーツ大会(2,3限)(12時30分下校)

14日(木) 机・椅子移動 学習発表会リハーサル(1,2限) 大掃除(3限)(12時30分下校)

15日(金) 修了式 日本語暗唱聖句・英語暗唱発表 学習発表会(12時30分下校)

16日(土) 卒業式(9時～ ダイヤモンドチャペル)(11時前後下校)

18日(月) 代休

19日(火)～4月5日(金) 春休み

28日(木) クリスタルチャペルワックスがけ(保護者・スタッフ)

4月8日(月) 入学・進級式



のあインターナショナルスクール スクール通信 2月号

2024.Feb. 1

VOI.199

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「目」

小学部 3～6年男子担任 平野光衣

気軽に情報を発信できる時代、「これが効果的！」や「これをするとうまい！」など、ライフスタイルや価値観に訴える情報が次から次へと入ってきます。そしてある時代には良いとされていたものが後になって間違っていたなどと言われることもあると思います。そういった情報は影響力があり、知らず知らずのうちに自分の価値観になっていたということはないでしょうか。「〇〇することが正解」や「普通は〇〇する」、と。私は人と接する中で、何度意識しようとしても自分の経験や正しさという評価軸で自分や相手を測り、善悪や成功と失敗を決めてしまうことがあります。

ある日、私は3つの面積を大きい順に並べるという授業をしました。生徒にぱっと見た印象で大きさを予想してもらおうと、ある人にはAが大きく見え、ある人にはBが大きく見えると意見が交わされました。人生のあらゆる出来事の中でも目の前で起こる出来事に対して、様々な見方があり、色々な考えや反応があると思います。

そこで弟子たちは群衆を後に残して、イエスを舟に乗せたままお連れした。ほかの舟も一緒に行った。すると、激しい突風が起こって波が舟の中にまで入り、舟は水でいっぱいになった。ところがイエスは、船尾で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生。私たちが死んでも、かまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、すっかり凪になった。 マルコの福音書 4章36～39節

私たちは人生の中で激しい突風に襲われるような、自分の予想とは違った展開が起きることがあります。この箇所でも、この状況に遭遇した弟子たちは焦り、不安を覚えました。しかし、イエスさまは平然と寝ていたのです。そして「黙れ、静まれ」と言った時、嵐はやんだのです。私は心が揺らぎそうになる時、いつもこの話を思い出します。私が今見えている現実はこの弟子たちのようにほんの一部であること、本当に現実を正しく見ることができるのは、全てを知っているイエスさまだけなのだ。目の前に見えるものだけで簡単に失敗や成功と片付けしないで、祝福と希望を約束してくれている神さまに信頼していこうと一昨年のスクールリトリートで教えられたことが今でもはっきりと覚えています。

どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安であなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。ローマ人への手紙 15章13節

今月も1日から2日まで、小学5年生以上はスクールリトリート「のありート」に参加し、豊かな2日間を過ごしていると思います。生徒一人ひとりが自分の内側に向き合い、神さまの言葉を受け取る姿に毎回感動します。悔い改め、癒し、夢などが語られ、これからを真っ直ぐに生きたいという姿に励まされ、私自身の内側も探られます。ぜひ、お子様にもどのような体験だったのか聞いてみていただけたらと思います。

2月のカレンダー

日	月	火	水
4日	5日	6日	7日 合同礼拝（1限）
11日 建国記念日	12日 振替休日	13日 国会議事堂見学 (8時 本郷台駅集合)	14日 学部別礼拝（1限） バレンタインコンサート（野七里地域ケアプラザ） 10時～11時30分 ← 学年末テスト（中・高等部） H先生誕生日
18日	19日 I先生誕生日	20日	21日 合同別礼拝（1限）
25日	26日	27日	28日 合同礼拝（1限） 4限授業（13時40分下校）

- ・ 1日（木）～2日（金）、スクール1泊リトリート（のありート）を実施します。対象は、小5以上です。ダイヤモンドチャペルで活動し、宿泊は上郷森の家になります。祝福をお祈りください。また、小1～4年生につきましては、1日（木）は、通常授業、通常下校、2日（金）は、特別授業、14時下校です。
- ・ 9日（金）午後、日本漢字能力検定を、本校を会場にして実施します。小学部からHOPEまで25名が受検します。準備してきた力が十分に発揮されるようお祈りください。小1、2は通常下校、8～10級受検者は14時45分、2～7級受検者は15時15分下校です。
- ・ 13日（火）金子道仁先生との交流会を含めた国会議事堂の見学に出かけます。当日は、8時本郷台駅集合、16時本郷台駅解散です。詳細につきましては、配布しましたレターにて。確認をお願いします。
- ・ 14日（水）～20日（火）は、学年末テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 14日（水）10時～11時30分、野七里地域ケアプラザで開催される「バレンタインコンサート」に全校で出演します。他、2団体出演する、多世代交流会です。地域の方々との良い交流の場となるようお祈りください。
- ・ 16日（金）、スタッフ研修のため、6限をカットします。下校は14時30分です。それに伴い、15日（木）6限に金曜日6限の委員会活動を行います。小1～4の下校は14時25分、小5以上は15時50分下校です。ご確認をお願いします。
- ・ 28日（水）2、3限は、性について学びます。大切な学びとなります。祝福をお祈りください。
- ・ 年度末にあたり、28日（水）、29日（木）は、4限授業です。水曜日は13時40分下校、木曜日は14時下校です。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムを毎週木曜日に行っています。子ども達が日々恵みをいただいている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。8日（木）、15日（木）、22日（木）、29日（木）の13時15分～です。詳細は鈴木までご連絡ください。

今月のみことば（暗唱聖句）

「しかし、ついに、いと高き所から私たちに霊が注がれ、荒野が果樹園となり、果樹園が森と見なされるようになる。」イザヤ 32:15

「Until the Spirit is poured upon us from on high, And the wilderness becomes a fruitful field, And the fruitful field is counted as a forest.」

木	金	土
1日 小1~4 通常授業（通常下校）	2日 小1~4 特別授業（14時下校）	3日
← スクール1泊リトリート（小5～） →		
8日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	9日 漢字能力検定（午後）	10日
15日 委員会活動（6限）（小1~4-14時25分、 小5以上-15時50分下校）	16日 スタッフ研修会 （5限授業 14時30分下校）	17日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム		
22日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	23日 天皇誕生日 M先生誕生日	24日
29日 4限授業（14時下校） 保護者、スタッフ向けバイブルタイム		



「預言者としての親の役割」

昨年11月に、私たち夫婦でフランスを訪れた際に、子どもたち孫たち一人ひとりのために小さなチョコレート菓子を買ってきました。さてそれをいつ配ろうかと話し合ったときに、正月に配るのが良いだろうという話になりました。でもただ配るだけでなく、それに何かの言葉を加えて配るべきだろうね、となりました。一人ひとりのためにカードを選んで、言葉を書き加える段になりました。そこに私は、一人ひとりのために「何を書くべきですか」と主に祈って、言葉をいただきつつ、祈りとしてカードに書き添えていきました。一人ひとりが生まれながらにして持っている賜物、その心の向かう方向性・傾向を思い起こしながら祈りの言葉を書いていきました。聖書には以下のような言葉があります。

若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。

（箴言22:6）

ここで「教育せよ」と訳されている言葉は、「しかるべき方向にしっかりとひっぱりなさい、ガイドしなさい」と言う意味です。一人ひとりに神様から与えられた賜物があり、その心が関心を示す分野が違います。ここで大切なのは、彼らに対して私たちが、どのような言葉を発するかです。その賜物がさらに活性化され、その心の持つ傾向が豊かにされていくよう語るべきでしょう。その意味において、私たち親は、私たちの子どもに対して、預言者としての役割を持っています。私たちが彼らに語るかけるとき、まず神に聞いてから語り掛けていきたいものです。ましてや、親は決して、彼らをけなすような言葉や、その存在を低めるような言葉を語ってはなりません。彼ら一人ひとりが神様から大きな使命を託されて、この世界に生まれて来ているのです。一人ひとりが持つ特性は、一見たとえそれがマイナスの特性のように見えても、必ずそこに神の目的があります。私たち一人ひとりに命を与えてくださった神と協力・連携しながら、私たちに託された子育てをしていきましょう。

校長 月井博

祈禱課題

1. のありとが祝福され、生徒一人ひとりの神様との関係がさらに豊かなものとなっていくように。
2. スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき、身体も支えられて指導にあたることができるように。
3. ご家庭に主の祝福が満ちるように。
4. 学校法人への道が開かれていくように。